

ニュージャージー補習授業校

えがお

平成十九年八月二十五日発行



幼児部の友だちの作品

ホームページ

www.hoshuko.org

おれは かまきり

かまきりりゅうじ (工藤直子)

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれのこころも かまも

どきどきするほど ひかっているぜ

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど きまってるぜ



幼児部の友だちの作品

出展 「教室で読みたい詩 十二月」 民衆社

今年(ことし)はどんな夏休み(なつやすみ)だったかな?

「最高(さいこう)気温(きん)が七十四(ななじゅうよっぴん)年(ねん)ぶりに更新(こうしん)」

とあか(とあか) まえ(まえ) にっほん(にっほん) きょうてき(きょうてき) つた(つた)

十日(じゅうにち)ぐらい前に日本(にっぽん)の記録(きらく)的な猛暑(まうしょ)を伝える(つた)ニュー(ニュー)スが流(なが)

れていました(い)。「今年(ことし)の日本(にっぽん)の夏(なつ)は異常(いじょう)だよ。」と一時(いちじ)帰国(きこく)され

ていた(いた)方も(かた)、あまり(あまり)の暑(あつ)さに驚(おど)いていました(い)ました。皆(みな)さんは、夏

休(やす)み中(ちゆう)に事故(じこ)なく楽(たの)しく過(す)せただ(ただ)しょうか(か)。「今(いま)まで(まで)にない

こ(こ)んな(んな)す(す)こ(こ)い(い)経(けい)験(けん)を(を)した(した)よ。」と(と)いう(いう)友(とも)だ(だ)ち(ち)も(も)い(い)る(る)こ(こ)と(と)思(おも)

ま(ま)す(す)。

と(と)ころ(ころ)で(で)、現(げん)地(ち)校(こう)に通(と)って(いて)る(る)友(とも)だ(だ)ち(ち)は、九(く)月(がつ)から(ら)い(い)よ(よ)い(い)

新(しん)学(がく)期(き)が(が)ス(ス)タ(タ)ー(ター)ト(ト)し(し)ま(ま)す(す)。学(がく)年(ねん)が(が)上(あ)がり(り)、新(あたら)しい(しい)担(たん)任(にん)の(の)先(せん)生(せい)

や(や)ク(ク)ラ(ラ)ス(ス)の(の)友(とも)だ(だ)ち(ち)に(に)慣(な)れる(れる)ま(ま)で(で)は、緊(きん)張(ちやう)する(する)こ(こ)と(と)も(も)あ(あ)る(る)で(で)し(し)ょ(ょ)

う(う)。で(で)も(も)、そ(そ)う(う)い(い)う(う)と(と)き(き)に(に)は(は)お(お)う(う)ち(ち)の(の)方(かた)や(や)補(ほ)習(しゅう)校(こう)の(の)先(せん)生(せい)、友(とも)

だ(だ)ち(ち)に(に)ど(ど)ん(どん)な(な)様(よう)子(す)が(が)聞(き)いて(いて)ま(ま)ら(ら)い(い)ま(ま)し(し)ょ(ょ)う(う)。中(なか)に(に)は(は)、似(に)た(た)よ(よ)う(う)な

思(おも)い(い)を(を)持(も)っ(っ)て(て)い(い)る(る)友(とも)だ(だ)ち(ち)が(が)い(い)て(て)、同(どう)じ(じ)話(わ)題(だい)で(で)話(わ)が(が)盛(も)り(り)上(あ)がる(がる)

こ(こ)と(と)で(で)し(し)ょ(ょ)う(う)。

さ(さ)て、補(ほ)習(しゅう)校(こう)で(で)は、こ(こ)れ(れ)か(か)ら(ら)前(ぜん)期(き)の(の)ま(ま)と(と)め(め)の(の)時(じ)期(き)と(と)な(な)り

ま(ま)す(す)。夏(なつ)休(やす)み(み)気(き)分(ぶん)を(を)早(はや)め(め)に(に)切(き)り(り)替(か)えて(て)、生(せい)活(かつ)の(の)リ(リズム)ズ(ズ)を(を)整(ととの)

え(え)ら(ら)れる(れる)と(と)よ(よ)い(い)で(で)す(す)ね(ね)。



みんなの作文



今週は、初等部六年生の作品です。

補習校にしかないもの

ニュージャージー補習授業校にしかないもの、それは
 どういうものだろうか。確かに現地校にない運動会などが
 あるが、一番違うもの、それは日本語で勉強できるとい
 うことだ。ぼくの母語は日本語。ぼくは、一番日本語が好
 きだ。だから、ぼくは補習校に通っている。

お父さんの好きなのと、いやなのと

お父さんの好きなのところは、しつこく怒らないこと
 です。何で悪かったか言うだけで、ずっと怒ってはいません。
 でも、お父さんはいやなのところもあります。それは自分の
 考えを通そうとすることです。でも、納得できることを
 言いつつ、「はい。」と聞いてくれます。

前回授業日の様子から

夏休みに入る前だった前回授業日は、七月七日でし
 た。そうですね、ちょうど七夕の日でしたね。朝早く
 から、父母の会の行事委員の方々がボランティアのみ
 なさんが、七夕飾りの準備をしてくださいました。お
 昼過ぎには、補習校の友だちの夢や願いを書いた短冊
 でいっぱいになりました。



本やビデオの貸し出し場所？

「夏休みは本を五冊読んだよ！」とうれしそうに教え
 てくれた友だちがいました。読書への挑戦、すばらし
 いですね。

ところで、父母の会図書委員の方々が運営してくだ
 さっている補習校自慢の図書館ですが、パラマスカ校の
 都合で図書の貸し出し場所が変更になります。その
 準備のため、貸し出し再開の連絡があるまで、図書は
 返却のみとなります。「読書の秋」ももうすぐです。
 普段は読まないような「名作」といわれている作品を
 味わってみるのもよいでしょう！貸し出し再開を楽
 しみに待っていてくださいね。